

第22期第3回 松浦海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和3年6月25日(金) 午後3時00分～午後4時00分

2 場 所 唐津市水産会館 研修室

3 出席者 松浦海区漁業調整委員

会 長	川 寄 和 正
会長職務代理者	池 田 宏 子
委 員	荒 卷 繁 男
”	坂 本 安 則
”	川 口 安 教
”	梅 崎 博 昭
”	宮 崎 雅 司
”	坂 口 正 人
”	後 藤 政 則
”	福 良 繁 一

4 臨席者 佐賀県農林水産部水産課

漁業調整担当 係長	寺田 雅彦
海区漁業調整委員会事務局	
事務局長	中牟田 弘典
主任主査	真 島 健

5 議題及び議決事項

- (1) 地元産の種カキの天然採苗試験(かきひび建て養殖試験)について(協議)
・・・原案どおり承認
- (2) 火光利用漁業に使用する集魚灯の光力制限について(協議)
・・・原案どおり承認
- (3) 遊漁者のクロマグロの採捕に係る委員会指示について(報告)
・・・・・・・・報告のみ
- (4) TAC 魚種の追加について(報告)
・・・・・・・・報告のみ
- (5) その他
・・・事務局から次回の委員会の日程について説明

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題 1・4 寺田係長

議題 2・3 真島主任主査

議題 5 中牟田事務局長

(2) 質疑応答

【議題(1)について】

(池田委員)

昨年に引き続き、今年も試験を行うという事ですが、資料にもありましたが、ホタテの殻を再利用するという事ですか。

(寺田係長)

はい、再利用するという事です。

【議題(2)について】

(池田委員)

漁業者の方は、委員会指示が決まれば、しっかりとルールを守られると思いますが、遊漁者に守って頂くには、やはり、わかりやすい表現が良いかと思えます。遊漁者の意見、そして、いか釣り協議会が開催されること。そして、このことを委員会として結論を出す期限は、ありますか。

(中牟田事務局長)

この委員会指示を遊漁者に適用するという事を考えますと、まずは、遊漁者への周知、意見の集約、これらを十分時間をとって設定する必要があると思えます。期間は、2年以上必要になるかと思えます。

【議題(3)について】

(後藤委員)

留保枠は、漁業者の分も含まれていますか。

(中牟田事務局長)

はい。

(後藤委員)

ということは、遊漁者が採捕すればするほど漁業者の調整枠が少なくなるということですか。

(中牟田事務局長)

はい。

(池田委員)

このことは、HPで周知されるのですか。

(中牟田事務局長)

国のHPに掲載されています。また、リーフレット等は、県を通じて関係団体に配布するルートと日本釣振興会等の関係団体を通じて各都道府県支部に配布されるルートの2パターンが想定されています。

【議題(4)について】

質疑なし

【議題(5)について】

質疑なし